

なるほど! 写真専門用語 Q&A

ここでは、本連載でクリス氏の各写真へのコメントなどに出てくる基本的な写真の専門用語に関するQ&Aを紹介します！

Q フォトジェニックコンテストの応募方法にもある、『解像度』って何ですか？

A 解像度（かいぞうど）とは、画像のきめ細かさのことです。デジタル画像は小さな点（ピクセル）の集合からできていて、ピクセルが多く密度が高いほど、細かな色の表現が可能になります。また、解像度は1インチあたりのピクセルの数（dpiなど）で表され、一般的に印刷物に適した解像度は、実際に印刷される写真などのサイズに対して250dpi～350dpiであると言われています。

Q クリスさんのコメントに、『被写界深度』という言葉がときどき使われますが、どういう意味ですか？

A 被写界深度（ひしゃかいしんど）とは、被写体以外のピントの領域のことです。被写体と被写体周りにピントが広く合っている状態は『被写界深度が深い』と言われ、逆に被写体のみにピントが合っていて、被写体の周囲がボケている状態は『被写界深度が浅い』と言われます。

Q 『トリミング』はどんな時にするのですか？

A トリミング（Trimming）は、英語で『刈り整える』という意味です。一般的に現像所（ラボ）や加工ソフトを使って、写真のテーマをより分かりやすく表現するために被写体の周りを切り取ったり、意図に反して写りこんだものを取り除く時などに使われます。

Q 『露出を上げる』とか『露出を下げる』ってどういうことなの？

A 露出（ろしゅつ）とは、写真に反映する光の量のことです。一般的なデジタルカメラの場合、カメラのオート機能を使うとカメラが自動的に露出を適正な値に設定しますが、それよりも明るい写真を撮りたい場合は、露出を上げて光を多く取り込みます。また逆に暗くしたい場合は、露出を下げて取り込む光の量を減らします。

Q 『ホワイトバランス』って何か教えてください。

A ホワイトバランス（White Balance）とは白色補正のことです。人の目は太陽の下や蛍光灯の下でも白いものは白く見えますが、デジタルカメラでは光源の違いによって白く写らない場合もあるため、ホワイトバランスがそれを補正して白いものを白く写し出します。

Q デジタルカメラの設定で『ISO』っていうのを変えられるけど、これって何？

A ISOは、光に反応するフィルムやデジタルカメラの撮像素子の感度のことで、数値が高いほど感度が上がって、少ない光量でも写真を明るく撮ることができます。一方で画質が粗くなるという側面もあります。一般的に、晴れた屋外ではISOを低く、暗い場所ではISOを高くして撮りますが、写真の用途によって調整する必要があります。